

R5年度 全国学力・学習状況調査 結果分析（高蔵寺中学校）

国語

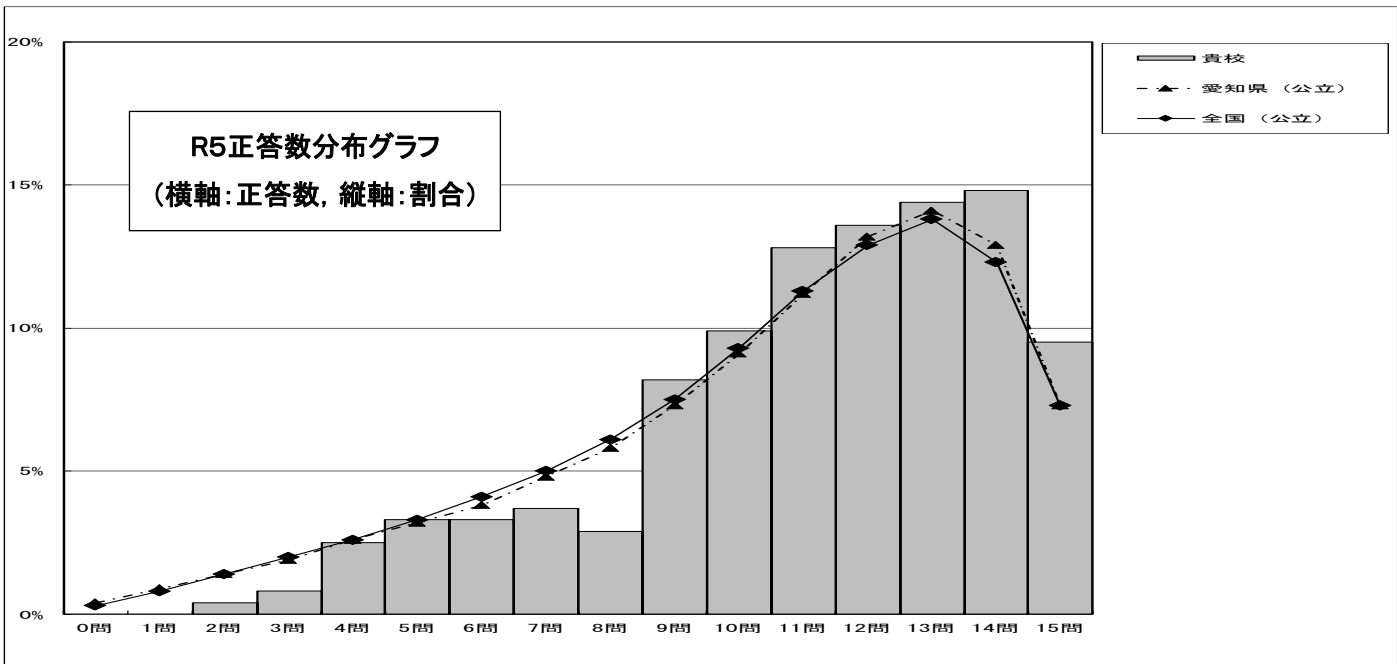
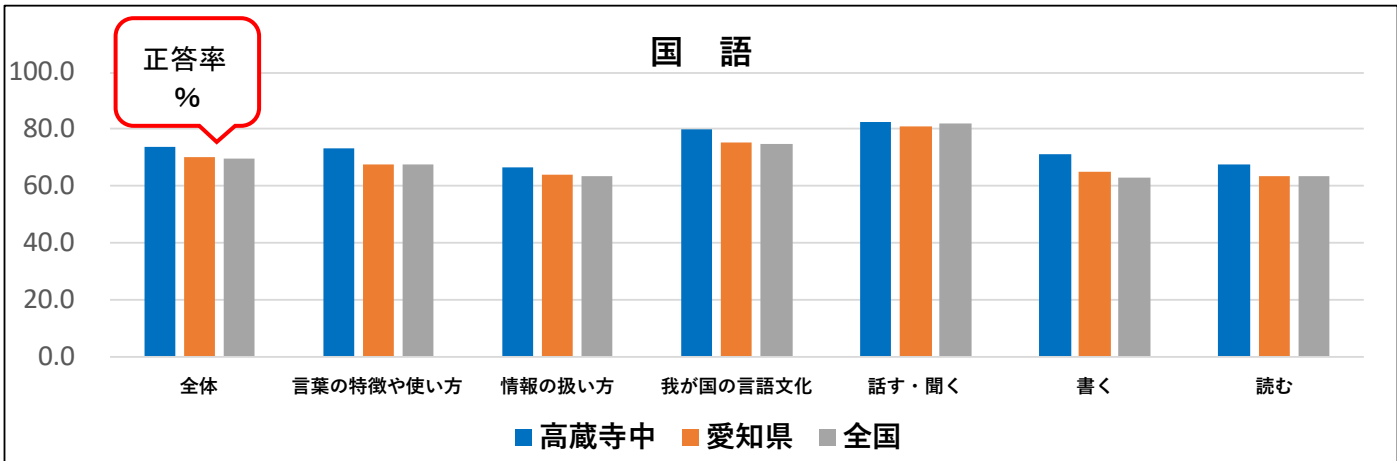
・全国平均と愛知県がほぼ同じレベルの結果であるのに対し、本校はそれを上回る結果となった。

<傾向と課題>

・思考・判断・表現の観点中の「書くこと」「読むこと」はとても高いレベルにある。一方、「話すこと・聞くこと」が弱い傾向があることがわかった。

→ 改善点：新学習指導要領開始にともない、対話や発表を行う場面が多くはなったが、さらなる向上が望まれる。この傾向は R4、R3年度の時にも見られたことから、今後の指導の中で特に意識しておく必要があると考える。

	高蔵寺中	全国との差	愛知県（公立）	全国（公立）
全体	74.0	+4.2	70.0	69.8
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	73.5	+6.0	67.6	67.5
(2) 情報の扱い方に関する事項	66.7	+3.3	64.0	63.4
(3) 我が国の言語文化に関する事項	79.8	+5.1	75.2	74.7
A 話すこと・聞くこと	82.3	+0.1	81.1	82.2
B 書くこと	71.4	+8.2	65.3	63.2
C 読むこと	67.4	+3.7	63.5	63.7



数学

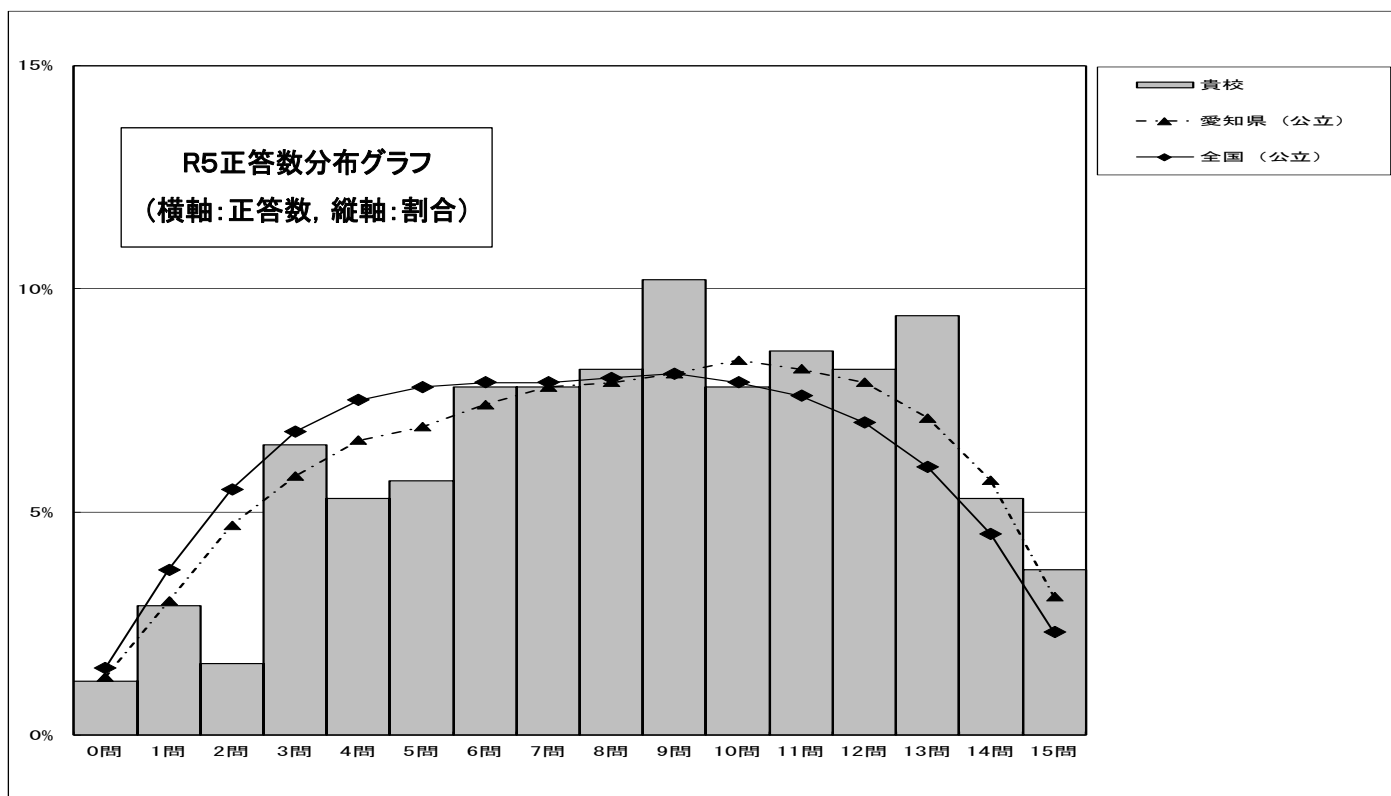
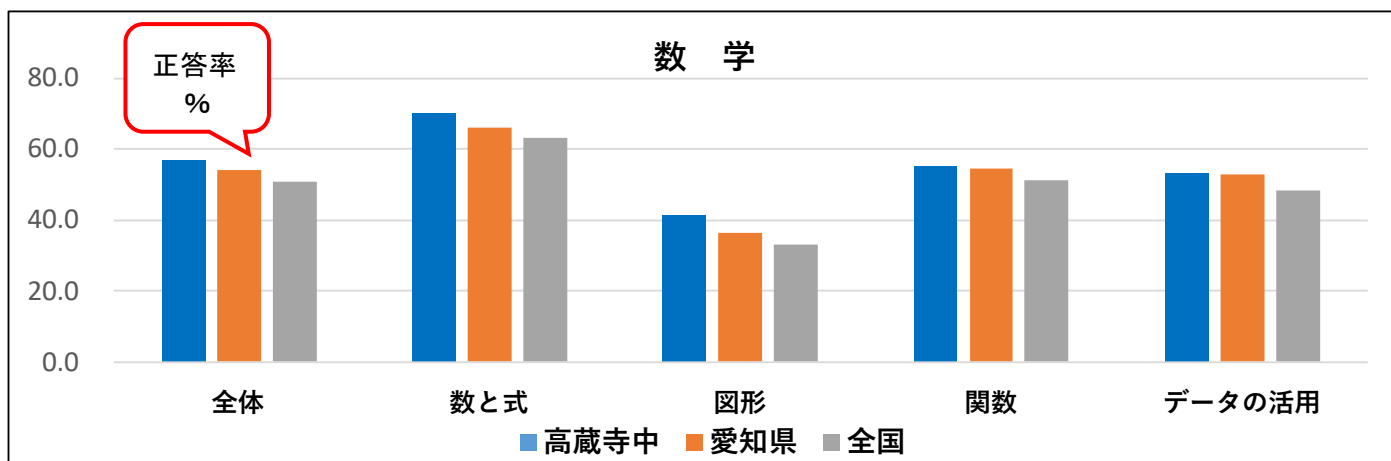
・愛知県平均は全国平均を上回り、本校はさらに大きく全国平均を上回る結果となった。

<傾向と課題>

・「数と式」「図形」の領域は非常によくできている。次いで、「図形」「データの活用」がよくできており、全国的に見れば自信をもって良いと考える。

→ 改善点：図形の領域では、「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる」という趣旨の問題が最も苦戦した者が多く、無解答率が 23.7%にのぼったことがわかった。また、データの活用の領域では、「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して説明する」という内容の問題で伸び悩む結果となった。これらの領域へのフォローを指導の中で行っていきたい。

	平均正答率(%)			
	高蔵寺中	全国との差	愛知県（公立）	全国（公立）
全体	57.0	+6.0	54.0	51.0
A 数と式	70.0	+7.0	65.9	63.0
B 図形	41.5	+8.3	36.2	33.2
C 関数	55.2	+4.0	54.4	51.2
D データの活用	53.1	+4.6	52.7	48.5



英語

- ・本校の結果は全国平均を大きく上回る結果となった。
- ・「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域で、特に高いパフォーマンスを発揮している。

<傾向と課題>

・新学習指導要領となり初めての英語「話すこと」領域の調査となったが、全国的に課題を残す結果となった。本校においては、「話すこと（やり取り）」においては、全国と比較して高いレベルにあることがわかった。これは日頃のコミュニケーションを重視した授業が効果をあげていると考える。一方、「話すこと（発表）」については伸び悩む結果となった。

→ 改善点：質問紙のデータより、「英語の勉強が好き」と答えた本校の生徒は65.3%と全国よりも13.4%も高い。（全国：51.9%）また、「授業の内容がよくわかる」と答えた生徒は82.4%で全国よりも18.5%高い。（全国：63.9%）よくわかることが好きへ、好きだからよくわかるへと好循環を生み出している。今後は英語が得意ではない生徒も巻き込み、コミュニケーションを楽しむ英語教育を進めていきたい。

	平均正答率(%)			
	高蔵寺中	全国との差	愛知県（公立）	全国（公立）
全体	59	+13.4	50	45.6
(1) 聞くこと	72.7	+14.3	63.4	58.4
(2) 読むこと	63.7	+12.5	54.8	51.2
(5) 書くこと	37.2	+13.8	26.7	23.4

	平均正答率(%)			
	高蔵寺中	全国との差	愛知県（公立）	全国（公立）
(3) 話すこと [やり取り]	21.8	+7.3		14.5
(4) 話すこと [発表]	4.8	+0.6		4.2

